


撮影したいシーンを登録する(カスタム登録)

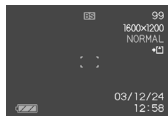
今まで撮影した画像の設定内容をベストショットモードに読み込んで、呼び出すことができます。呼び出した画像の設定内容と同じ設定で撮影することができます。

1. RECモードにして[MENU]を押します。
2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“BS ベストショット”を選び、[SET]を押します。
 - シーンのサンプル画像が表示されます。
4. [◀][▶]を押して“新規登録”を表示させます。
 
5. [SET]を押します。

6. [◀][▶]を押して読み込む画像を選びます。



7. [▲][▼]で“登録”を選び、[SET]を押します。
 - 登録が完了します。
 - 撮影できる状態になります。以降、55ページと同じ操作により、この設定を選んで撮影することができます。



- 重要!**
- デジタルカメラでは、本機内蔵のシーンのあとに「マイベストショット(カスタム登録したシーン)」の順番でシーンが登録されます。
 - 内蔵メモリーをフォーマット(106ページ)すると、カスタム登録したベストショットモードのシーンファイルは消えてしまいますので、その場合は必要に応じてカスタム登録し直してください。

- 参考**
- 登録される設定内容は下記の通りです。フォーカスモード、EVシフト、ホワイトバランス、フラッシュモード、ISO感度
 - 本機で撮影された画像からのみ設定内容を読み取ることができます。
 - 登録可能件数は最大999件となります。
 - 各シーンの設定状態はメニューをたどり、各機能の設定内容を表示させることにより、確認できます。
 - カスタム登録したシーンのファイル名は「UEXZ4nnn.jpg (n=0~9)」となります。
 - カスタム登録したシーンを消去したい場合は、ベストショットモードでシーンを選ぶときに、カスタム登録したシーンを表示させ、[▼][4]を押して削除するか、パソコンを使って内蔵メモリー内の「Scene」フォルダ内から消去したいシーンのファイルを削除してください(122ページ)。

二人で記念撮影をする(カップリングショット)

一画面を2つに分けて2回撮影し、その後自動合成して1枚の画像にする機能です。他の人に撮影を頼むことができないときでも、全員揃って記念撮影できます。この機能はベストショットモード(55ページ)の中にあります。

• 最初の撮影

撮影者以外を撮影する。



- 最終的な撮影
背景の重なり具合を確認しながら撮影者のみを撮影する。



• 合成



好みの構図で記念撮影をする(プリショット)

プリショット機能は人に撮影を依頼するときに便利な機能です。この機能では一度の撮影で2回の撮影を行います。1回目の撮影で撮影画像を半透明の状態ですべて液晶モニター上に表示し、2回目では表示されている半透明の画像を目安に最終的な撮影を行います。2回目に撮影した画像が記録されます。この機能はベストショットモード(55ページ)の中にあります。

• 好みの構図を自分で撮影



- 構図に合わせて他の人に撮影してもらおう



• 2回目だけの画像が記録される

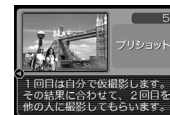


1. RECモードにして[MENU]を押します。

2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“BS ベストショット”を選び、[SET]を押します。

4. [◀][▶]で“プリショット”のシーンを選び、[SET]を押します。



5. 最初に仮撮影を行います。

- この操作で撮影した画像は操作6で半透明で表示されますが、最終的にはカメラに保存されません。
- この撮影で下記の情報が固定されます。フォーカス、露出、ホワイトバランス、ズーム、フラッシュ

1. RECモードにして[MENU]を押します。
2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“BS ベストショット”を選び、[SET]を押します。
4. [◀][▶]で“カップリングショット”のシーンを選び、[SET]を押します。
5. 最初に[液晶モニター]で[フォーカスフレーム]を左側部分の被写体に合わせて撮影します。
 - この撮影で下記の情報が固定されます。フォーカス、露出、ホワイトバランス、ズーム、フラッシュ
 - カップリングショットでは、“AFエリア”(48ページ)が自動的に“スポット”になります。



【フォーカスフレーム】

6. 次に、[液晶モニター]上で半透明で表示されている左側部分と、現在の背景を正しく重なるようにフレームを合わせ、右側部分を撮影します。
 - [MENU]を押すと、この撮影をキャンセルし、操作5に戻ることができます。

- 重要!**
- カップリングショットでは、撮影時に内蔵メモリーまたはメモリーカードのどちらかを使用している方のメモリーを一時的に使用します。メモリーの容量が残り少ないと、撮影中にエラー表示が出ることがあります。その場合は不要な画像を消去してから再度撮影してください。



半透明の画像

6. 次に、【液晶モニター】上で半透明で表示されている背景と、現在の背景を正しく重なるようにフレームを合わせて撮影します。

●この操作で撮影した画像がカメラに保存されます。

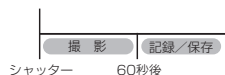
●【MENU】を押すと、この撮影をキャンセルし、操作5に戻ることができます。



半透明の画像

動画を撮影する(ムービーモード)

一度に最大60秒まで音声つき動画を撮影することができます。



- ファイル形式：AVI形式
AVI形式は、Open DML グループが提唱したMotion JPEGフォーマットに準拠しています。
- 画像サイズ：320×240pixels
- 動画ファイルサイズ：約160KB/秒
- 撮影可能なムービーの時間：
 - 一度に撮影可能な最長時間：60秒
 - 撮影可能なトータル時間：
 - 内蔵メモリーで最長約1分00秒、64MBのSDメモリーカードで最長約6分20秒

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”を選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“ムービー”を選び、【SET】を押します。

- 「残りセット数」は、60秒の動画をあと何回撮影できるかを示しています。



残りセット数

4. 撮影する被写体にカメラを向け、【シャッター】を押します。

- 60秒間、動画撮影が続きます。
- 動画撮影中は【液晶モニター】に“残り撮影時間”を表示します。
- ムービーモードではフォーカスモードが自動的にパンフォーカス(49ページ)になります。撮影前であれば、他のフォーカスモードに切り替えることができます。



残り撮影時間

ムービー録画中

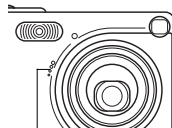
- 動画撮影中は光学ズームは動作しません。デジタルズームのみ使用できます。【シャッター】を押す前ですと、光学ズームは使用できます。
- 動画撮影を60秒以内に終了させたいときは、もう一度【シャッター】を押してください。

5. 動画撮影が終了したら、動画ファイルがカメラのメモリーに保存されます。

- 動画ファイルの保存を中止したいときは、保存中に【▼】を押した後、“消去”を選び、【SET】を押してください。

重要!

- フラッシュは発光しません。
- 本機では音声も同時に記録されますので、次の点に注意してください。
 - ―指などで【マイク】をふさがないようにご注意ください。
 - ―録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
 - ―撮影中にボタン操作をすると、操作音が入ることがあります。
 - ―音声はモノラルで録音されます。
 - ―ムービーモードに切り替えると、自動的にフォーカスモードがパンフォーカス(49ページ)になります。



【マイク】

ーフォーカスモード(47ページ)をオートフォーカスモードかマクロモード(●)にすると、自動的にピント調整を行います。その際に「カタカタ」という動作音が入ります。ピント調整音が気になる場合は、パンフォーカスのまま撮影するか、あらかじめマニュアルフォーカスモード(MF)にしてピントを調整したうえで、撮影することをおすすめします。

ーフォーカスモードをパンフォーカスモード(PF)、マニュアルフォーカスモード(MF)、無限遠モード(∞)にすると「カタカタ」という動作音は入りません。ただし、マニュアルフォーカスモードでは撮影中のピント調整ができなくなりますので、撮影前にピントを合わせてください。

音声を記録する

画像に音声を加えて記録する(音声付き静止画撮影モード)

画像撮影後に、音声を録音することができます。

- 画像形式：JPEG形式
画像を効率よく圧縮するための画像フォーマットです。拡張子は“.JPG”となります。
- 録音形式：WAVE/ADPCM記録形式
音声を録音するためのWindows標準フォーマットです。拡張子は“.WAV”となります。
- 録音時間：1画像につき最長約30秒間
- 音声ファイルサイズ：
 - 約120KB(約4KB/秒で30秒間録音時)

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”を選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“静止画+音”を選び、【SET】を押します。

- 音声付き静止画撮影モードになります。

4. 【シャッター】を押して、画像を撮影します。

- 画像を撮影した後、音声録音スタンバイ状態になります(今、撮影した画像が表示されます)。
- 音声録音スタンバイ状態で【MENU】を押すと、音声録音を解除することができます。



録音可能時間

5. 【シャッター】を押して、音声を録音します。

- 録音中は緑色の【動作確認用ランプ】が点滅します。
- 【DISP】を押して【液晶モニター】をオフに設定しても、音声録音時には【液晶モニター】は点灯します。

6. 【シャッター】を押すか約30秒経つと録音を終了します。

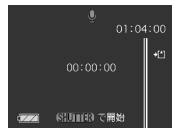
音声のみ記録する(ボイスレコードモード)

音声のみを録音することができます。

- 録音形式：WAVE/ADPCM記録形式
音声を録音するためのWindows標準フォーマットです。拡張子は“.WAV”となります。
- 録音時間：内蔵メモリー使用時間で最長約40分
- 音声ファイルサイズ：
 - 約120KB(約4KB/秒で30秒間録音時)

1. RECモードにして[MENU]を押します。
2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“ボイスレコード”を選び、[SET]を押します。
 - ボイスレコードモードになります。



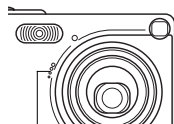
録音可能時間

4. [シャッター]を押して、音声を録音します。
 - 録音中は【液晶モニター】に“録音時間”を表示します。また、緑色の【動作確認用ランプ】が点滅します。
 - 録音中に【DISP】を押すと、【液晶モニター】が消灯します。音声の記録が終了すると、再び【液晶モニター】が点灯します。
 - 録音中に【SET]を押すと、録音位置を記憶したマークを付けることができます。
5. [シャッター]を押すかメモリーが一杯になるか、または電池が消耗すると録音を終了し、音声を記録します。

参考 ●【モードスイッチ】を“REC”に合わせた状態で、【DISP】を押しながら、【電源ボタン】を押すと、レンズを繰り出さずにボイスレコードモードで起動します。

■ 音声記録時のご注意

- カメラ前面部にある【マイク】を必ず対象に向けてください。
- 指などで【マイク】をふさがないようにご注意ください。

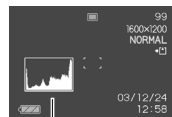


【マイク】

- 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
- 録音中にボタン操作をすると、操作音が入ることがあります。
- 録音中に【電源ボタン】を押したり【モードスイッチ】を切り替えると、録音は中止となり、その時点までの音声記録されます。
- 撮影済みの静止画像に、後から音声を追加(アフターレコーディング機能)することができます。また、録音済みの音声記録し直すこともできます(84ページ)。

ヒストグラムを活用する

【DISP】を押して【液晶モニター】上にヒストグラムを表示させることにより、露出をチェックしながら撮影することができます(23ページ)。再生モードでは撮影された画像のヒストグラムを見ることができます。



ヒストグラム

ヒストグラム(輝度成分分布表)とは、画像の明るさのレベルをピクセル数によりグラフ化したものです。縦軸がピクセル数、横軸が明るさを表します。ヒストグラムを見ると、補正するために充分な画像のディテールが画像のシャドウ(左側)、中間調(中央部分)、ハイライト(右側)に含まれているかどうかを確認することができます。もしもヒストグラムが片寄っていた場合は、EVシフト(露出補正)を行うと、ヒストグラムを左右に移動させることができます。なるべくグラフが中央に寄るように補正をすることによって、適正露出に近づけることができます。

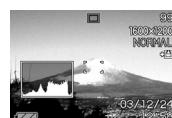
- ヒストグラムが左の方に寄っている場合は、暗いピクセルが多いことを示しています。全体的に暗い画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり左に寄り過ぎてしまうと、黒つぶれを起こしている可能性もあります。



- ヒストグラムが右の方に寄っている場合は、明るいピクセルが多いことを示しています。全体的に明るい画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり右に寄り過ぎてしまうと、白飛びを起こしている可能性もあります。



- ヒストグラムが中央に寄っている場合、明るいピクセルから暗いピクセルまで適度に分布していることを示しています。全体的に適度な明るさの画像はこのようなヒストグラムになります。



- 重要!** ●前記のヒストグラムはあくまでも例であり、被写体によってはヒストグラムの形が例のようにならない場合もあります。
- 撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もあるので、必ずしも中央に寄ったヒストグラムが適正となる訳ではありません。
 - 露出補正には限界がありますので、調整しきれない場合があります。
 - フラッシュ撮影による撮影など、撮影したときの状況によっては、ヒストグラムによりチェックした露出とは異なる露出で撮影される場合があります。
 - カッピングショット撮影時(58ページ)は、ヒストグラムは表示されません。

各種機能を設定する

RECモードにおいて、下記の機能を設定することができます。

- ISO感度
- グリッド表示のオン/オフ
- 撮影レビュー
- 左右キー設定
- 各種設定の記憶(モードメモリ)
- 各種設定のリセット

参考 ●上記以外に、次の機能も変更できます。操作方法については各ページをご覧ください。

- サイズ/画質(45ページ)
- ホワイトバランス(54ページ)
- デジタルズーム(41ページ)
- AFエリア(48ページ)

ISO感度を変える

ISO感度の変更ができます。使用目的に応じてISO感度を設定してください。

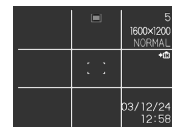
1. RECモードにして[MENU]を押します。
2. “撮影設定”タブ→“ISO 感度”と選び、[▶]を押します。
3. 設定内容を選び[SET]を押します。
 - オート : 撮影条件により自動調整します。
 - ISO 50 : ISO 50相当
 - ISO 100 : ISO 100相当
 - ISO 200 : ISO 200相当
 - ISO 400 : ISO 400相当

重要! ●ISO感度を上げると画像のノイズが増加します。使用目的に応じてISO感度を設定してください。

- ISO感度を上げてフラッシュ撮影すると、近くの被写体の明るさが、適正にならない場合があります。

グリッドを表示する

撮影時、【液晶モニター】に方眼を表示します。カメラを水平や垂直に保つのに便利です。



1. RECモードにして[MENU]を押します。
2. “撮影設定”タブ→“グリッド表示”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。
 - 入 : グリッドを表示します。
 - 切 : グリッドは表示しません。

撮影した画像を確認する(撮影レビュー)

撮影した直後に【液晶モニター】で撮影した画像を確認することができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“撮影レビュー”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定項目を選び、【SET】を押します。
入：撮影直後に【液晶モニター】に撮影した画像が約1秒間表示されます。
切：撮影した画像は表示されません。

左右キーに機能を割り当てる(キーカスタマイズ)

【◀】【▶】に、5つの中のどれか1つの機能の操作に割り当てることにより、操作しやすくなることができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“左右キー設定”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
 - 【◀】【▶】で設定した機能が操作できるようになります。

撮影モード	： 撮影モード(静止画／ベストショット／ムービー／音声付静止画／ボイスレコード)が変更できます(137ページ)。
EVシフト	： 露出値(EV値)が補正できます(52ページ)。
ホワイトバランス	： ホワイトバランスが変更できます(54ページ)。
ISO感度	： ISO感度の変更ができます(68ページ)。
セルフタイマー	： セルフタイマーの設定ができます(44ページ)。
切	： 【◀】【▶】に操作を割り当てません。

参考 • 初期設定は“撮影モード”の操作となります。

各種設定を記憶させる(モードメモリ)

モードメモリとは、電源を切ったときでも直前の状態を記憶しておく機能です。電源の入／切で毎回設定をし直す手間がはぶけます。

●モードメモリで設定できる機能

撮影モード、フラッシュ、フォーカス方式、ホワイトバランス、ISO感度、AFエリア、デジタルズーム、MF位置、ズーム位置

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. 【◀】【▶】で“モードメモリ”タブを選びます。
3. 【▲】【▼】で設定したい機能を選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
入：電源を切ったときにその時点の設定を記憶します。
切：電源を切ったときに初期設定に戻ります。

機 能	入	切
撮影モード	最後のモード	静止画
フラッシュ		オート
フォーカス方式		オート
ホワイトバランス		オート
ISO感度		オート
AFエリア		スポット
デジタルズーム		入
MF位置		MFに切り替える前の位置
ズーム位置*		ワイド端

*ズーム位置では光学ズームの位置のみ記憶します。

- 重要!** • ベストショットモードでは、シーンの選択をしたり、【モードスイッチ】を切り替えたり、電源のオン／オフを行うと、モードメモリが入／切のどちらに設定されていても、撮影設定(フラッシュ、ホワイトバランス、ISO感度)は各シーンの初期設定値となります。
• ムービーモードでは、モードメモリの入／切の設定に関わらず、フラッシュは常に発光禁止に設定されます。

各種設定をリセットする

本機の設定内容を初期値に戻すことができます。初期値については「メニュー一覧表」(137ページ)をご覧ください。

1. RECモードまたはPLAYモードで【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“リセット”を選び【▶】を押します。
3. “リセット”を選び【SET】を押します。
 - リセットしない場合は“キャンセル”を選びます。

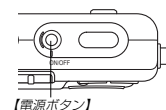
再生する

本機は【液晶モニター】を備えていますので、記録されているファイルを本機だけで確認することができます。

基本的な再生のしかた

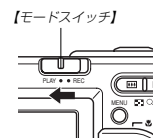
記録されているファイルを順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。
 - 【液晶モニター】に画像またはメッセージが表示されます。



【電源ボタン】

2. 【モードスイッチ】を“PLAY”に合わせます。
 - PLAYモードになり、再生できる状態になります。



【モードスイッチ】

3. 【◀】【▶】でファイルを見ていきます。



【▶】を押す：進みます。

【◀】を押す：戻ります。

- 参考** • 【◀】【▶】を押し続けると、ファイルは早送りされます。
• 初めに表示される画像は簡易画像のため、粗い表示になっていますが、すぐ後に精細な画像が表示されます。ただし、他のデジタルカメラからコピーした画像は、この限りではありません。

音声付き画像を再生する

音声付きの画像(📷)が表示される画像)を見るときは、下記のように操作してください。

1. **PLAYモード**にして、[◀][▶]で音声付き画像を表示させます。

2. **[SET]**を押します。

- 画像に録音された音声から再生されます。

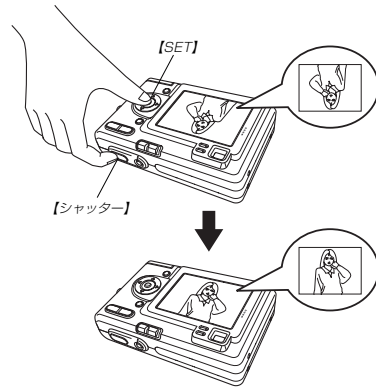


- 音声再生中に、次のような操作ができます。
 音声を早戻し/早送りする [◀][▶]を押して続ける
 再生と一時停止を切り替える [SET]を押す
 音量を調整する [▲][▼]を押す
 再生を中断する [MENU]を押す

重要! 音声付き画像の音量調整は、再生／一時停止中に可能です。

反転表示させる

表示している画像を180°反転させることができます。画像を対面の人に見せるときなどに便利です。



1. **PLAYモード**にして[◀][▶]で画像を表示させます。

2. **[シャッター]**と**[SET]**を同時に押します。

- 画像が180°反転します。このときは情報表示やヒストグラム等の表示は消え、画像のみの表示となります。
- [◀][▶]で画像の送り、戻しができます。

3. **[▲][▼][◀][▶]**以外のボタンを押すと、元の状態に戻ります。

重要! 反転表示中は、[◀][▶]を押しても、動画、音声付き画像、ボイスレコードファイル画像は表示されません。
 • 拡大表示、カレンダー表示、9画面表示、動画、音声付き画像、ボイスレコードファイル画像を表示中は、反転表示できません。

画像を拡大して表示する

撮影した画像を4倍まで拡大して表示させることができます。

1. **PLAYモード**にして、[◀][▶]で拡大したい画像を表示させます。

2. **[ズームボタン]**の“Q”側を押して拡大します。

- [液晶モニター]に現在の倍率が表示されます。
- [DISP]を押すと倍率などの表示のオン/オフができます。



3. **[▲][▼][◀][▶]**で拡大した画像を上下左右にスクロールすることができます。

4. **[MENU]**を押すと、画像は元の大きさに戻ります。

重要! 動画は拡大表示できません。
 • 画像のサイズにより、4倍までの拡大表示ができない場合があります。

画像サイズを変える(リサイズ)

撮影した静止画像のサイズを、次の2種類のサイズに変えることができます。

- 1280×960pixelsのSXGAサイズ
- 640×480pixelsのVGAサイズ

• VGAサイズの画像は、メールに添付する画像やホームページに貼り付ける画像に最適です。

1. **PLAYモード**にして**[MENU]**を押します。

2. “再生機能”タブ→“リサイズ”を選び、[▶]を押します。



3. **[◀][▶]**でサイズを変えたい画像を表示させます。

4. **[▲][▼]**でリサイズ内容を選び、**[SET]**を押します。

- 1280×960 : 1280×960pixelsのSXGAサイズに変えます。
- 640×480 : 640×480pixelsのVGAサイズに変えます。
- キャンセル : リサイズを中止します。

重要! • リサイズした画像は、リサイズする前の画像とは別に最新ファイルとして保存されます。
 • 画像サイズが640×480pixels以下の画像はリサイズできません。
 • 画像サイズが2304×1536(3:2)pixelsの画像はリサイズできません。
 • このカメラで撮影した画像以外の画像は、リサイズできません。
 • “このファイルではこの機能は使用できません”と表示された場合は、リサイズできません。
 • リサイズした画像を保存できるだけメモリー容量が残っていない場合は、リサイズできません。

画像の一部を切り抜く(トリミング)

拡大した画像から必要な箇所を切り抜いて、メールに添付する画像やホームページに貼り付ける画像などの構図を整えることができます。

1. **PLAYモード**にして、[◀][▶]でサイズを変えたい画像を表示させます。

2. **[MENU]**を押します。

3. “再生機能”タブ→“トリミング”を選び、[▶]を押します。

- 画面に画像を切り抜くための枠が表示されます。



4. **[ズームボタン]**を押して、枠の拡大/縮小をします。

- 表示されている画像のサイズによって、トリミングできる枠の大きさが変わります。

5. **[▲][▼][◀][▶]**で切り抜きたい部分を枠で囲みます。

6. **[SET]**を押します。

- トリミングを中止する場合は**[MENU]**を押します。

重要! • トリミングした画像は最新ファイルとして保存されます。
 • 画像サイズが小さいほどトリミングできる枠の大きさが限定されます。
 • 画像サイズが640×480pixelsの画像では、枠は拡大/縮小できません。
 • トリミングしても、トリミングする前の画像は残っています。
 • 画像サイズが2304×1536(3:2)pixelsの画像はトリミングできません。
 • 動画、ボイスレコードファイル画像はトリミングできません。
 • このカメラで撮影した画像以外の画像は、トリミングできません。
 • “このファイルではこの機能は使用できません”と表示された場合は、トリミングできません。
 • トリミングした画像を保存できるメモリー容量が残っていない場合は、トリミングできません。

動画を再生する

ムービーモードで撮影した動画を再生することができます。

1. **PLAYモード**にして、**◀▶**で再生したい動画を表示させます。



2. **[SET]**を押します。

- 動画が再生されます。
- 動画再生中に、次のような操作ができます。
 - 早戻し／早送りする **◀▶**を押し続ける
 - 再生と一時停止を切り替える **[SET]**を押す
 - 一時停止中にコマ送りする **◀▶**を押す
 - 再生を中断する **[MENU]**を押す
 - 音量を調整する **▲▼**を押す

- 重要!** 動画を連続して再生することはできません。再度再生したいときは、もう一度、上の操作を行ってください。
- 音声も同時に再生されますので、次の点に注意してください。
 - 動画の音量調整は、再生／一時停止中に可能です。

1つの画面に9つの画像を表示する

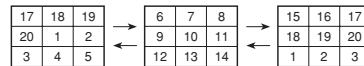
撮影した内容を9つまで同時に一覧表示させることができます。

1. **PLAYモード**にします。

2. **[ズームボタン]**の**“Q”**側を押します。

- 9つの画像が表示され、最初に表示されていた画像は、枠が付いた状態で中央に表示されます。
- 画像の総数が9枚以下の場合は、左上から順に画像が表示されます。枠は1枚目の画像に付きます。
- **◀▶**または**▶**を押して、枠が画面の左端、または右端まで行くと、次の9枚を表示します。
- **[ズームボタン]**の**“Q”**側を2回押すとカレンダー表示(78ページ)になります。
- ボイスレコードファイル画像(64ページ)には**📄**が表示されます。

例：画像の総数が20枚で、1番目の画像を最初に表示していた場合



3. **▲▼**、**◀▶**、**▶**で画像を見ていきます。

4. **▲▼**、**◀▶**以外のボタンを押すと9画面表示は終了します。

目当ての画像を素早く表示する

1. 9画面表示に切り替えます。

2. **▲▼**、**◀▶**で目当ての画像に枠を移動します。



3. **▲▼**、**◀▶**以外のボタンを押します。

- 目当ての画像が1枚で表示されます。



カレンダー表示をする

1ヶ月分のカレンダー表示の日付上に、その日に撮影した最初の画像を表示させることができ、見たい画像を素早く探すことができます。

1. **PLAYモード**にして**[ズームボタン]**の**“Q”**側を2回押します。

- **[MENU]**を押してから、“再生機能”タブ→“カレンダー表示”と選び、**▶**を押してもカレンダー表示になります。

2. **▲▼**、**◀▶**で目当ての画像に枠を移動します。



- 年／月の表示は“表示スタイル”の設定(103ページ)に従って表示されます。
- 各日付上にその日に撮影した最初の画像が表示されます。
- 枠が上端にあるとき**▲**を押すと前の月の画面に移ります。
- 枠が下端にあるとき**▼**を押すと次の月の画面に移ります。
- カレンダー表示を終えるには**[MENU]**または**[ズームボタン]**の**“Q”**側を押します。

- ボイスレコードファイル画像(64ページ)には**📄**が表示されます。
- このカメラで表示できないデータの場合は**📄**が表示されます。

3. 見たい画像に枠を移動させたら、**[SET]**を押します。

- その日に撮影した最初の画像が表示されます。

画像を自動的にページめくりさせる(スライドショー)

撮影した内容を自動的に次々とページめくりさせる機能(スライドショー)です。ページめくりの間隔を設定することもできます。



1. **PLAYモード**にして**[MENU]**を押します。

2. “再生機能”タブ→“スライドショー”と選び、**▶**を押します。

3. 各設定項目を設定します。各設定方法については、下記をご覧ください。

表示画像 「表示画像を設定する」(80ページ)
 時間 「時間を設定する」(81ページ)
 間隔 「間隔を設定する」(81ページ)

4. “開始”を選び**[SET]**を押します。

5. **[SET]**を押すとスライドショーが終了します。

- “時間”で設定した時間が経過すると自動的に終了します。

- 重要!** 画面の切り替え中はボタン操作が効かなくなります。画面が静止している時にボタン操作をしてください。ボタンが効かない場合はしばらくボタンを押し続けてください。

- 動画は自動的に1回再生します。
- 音声付き動画、ボイスレコードファイルは、自動的に音声を1回再生します。
- 音声再生中に**▲▼**を押して、音量を調整することができます。
- パソコンからコピーした画像や、他のデジタルカメラの画像では、設定した間隔より長くなる場合があります。

表示画像を設定する

1. **▲▼**で“表示画像”を選び**▶**を押します。

2. **▲▼**で表示内容を選び**[SET]**を押します。
 - 全画像 : メモリー内にある全てのファイルを表示します。

1枚画像 : ファイルを一枚のみ選んで表示します。
 お気に入り : お気に入りフォルダ(122ページ)にあるファイルを表示します。

3. **▲▼**で“開始”を選び**[SET]**を押します。

- スライドショーが始まります。
- 音声付き静止画／ボイスレコードでは、音声も再生します。

■ 1 枚画像について

“1 枚画像”では一枚のみ画像を選んで表示することができます。フォトスタンド機能(82ページ)で画像を一枚のみ表示させたい場合に使用します。

1. “1 枚画像”を選び[▶]を押します。
2. [◀][▶]で目的の画像を表示させます。
3. [SET]を押すと、設定を確定してメニュー画面に戻ります。
 - [MENU]を押すと設定をキャンセルしてメニュー画面に戻ります。



時間を設定する

1. [▲][▼]で“時間”を選びます。
2. [◀][▶]で再生したい時間を選び[SET]を押します。
 - 時間は1～60分の間で指定できます。
3. [▲][▼]で“開始”を選び[SET]を押します。
 - スライドショーが始まります。

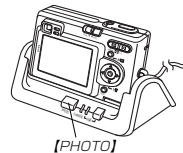
間隔を設定する

1. [▲][▼]で“間隔”を選びます。
2. [◀][▶]でスライドショーの間隔を選び[SET]を押します。
 - 間隔は“最速”と1～30秒の間で指定できます。
 - 間隔を“最速”に指定したとき、動画は先頭のコマのみを再生します。
3. [▲][▼]で“開始”を選び[SET]を押します。
 - スライドショーが始まります。

USBクレードルにセットしたままスライドショーさせる(フォトスタンド機能)

カメラをUSBクレードルにセットしたままスライドショーができます。電池の消耗を気にせずに、フォトスタンドのように画像を見ることが出来ます。フォトスタンド機能はスライドショーの設定にしたがって表示します。あらかじめスライドショーの設定を行ってください(79ページ)。

1. カメラをUSBクレードルにセットします。
 - カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
2. USBクレードルの[PHOTO]を押します。
 - スライドショーが始まります。
 - [MENU]を押すと、スライドショーの各設定項目が設定できます。スライドショーを再開するには、メニュー表示中に[MENU]を押すか、“開始”を選んで[SET]を押してください。
 - 音声再生中に[▲][▼]を押して、音量を調整することができます。
3. [PHOTO]を押すとスライドショーが終了します。



重要! • スライドショー中は電池の充電ができません。充電する場合はスライドショーを終了してください。

回転表示させる

画像の回転情報(向き)を画像ファイルに書き込むことができます。再生時には回転情報をもとに画像を表示することができます。スライドショーでの表示のみに有効です。縦置きで撮影した画像や、回転させたい画像に使用すると便利です。

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“回転表示”を選び、[▶]を押します。
3. [◀][▶]で回転させたい画像を表示させます。
4. “回転”を選び[SET]を押します。
 - “回転”を選んだ状態で[SET]を押すたびに90°ごとに右まわりに回転します。
5. [MENU]を押して設定を終了します。



重要! • メモリープロテクトをかけたファイルは、回転することはできません。メモリープロテクトを解除してから操作してください。
 • 他のデジタルカメラで撮影した画像では、回転できない場合があります。
 • ムービー/ボイスレコードは回転表示できません。

画像ルーレット機能を使う

カメラ内の画像を【液晶モニター】でルーレットのように送りながら1枚の画像を選択していく機能です。画像ルーレットがスタートすると画像はランダムに選択されて送られます。最初は速く送り、徐々に送る速度をゆるめていき、最後に1枚の画像を選択して止まります。最後に選択される画像がどれになるかはわかりません。全く規則性はありません。

1. [モードスイッチ]を“PLAY”に合わせます。
2. 電源が切れている状態で、[◀]を押したまま[電源ボタン]を押して電源を入れます。
 - [◀]は【液晶モニター】が表示されるまで押し続けてください。
 - 画像ルーレットが開始され、最後に1枚の画像が選択され止まります。
3. [◀][▶]を押すと、画像ルーレットを再開します。
4. [モードスイッチ]を“REC”に合わせてRECモードにするか、[電源ボタン]を押して電源を切ると、画像ルーレット機能は終了します。

重要! • 動画やボイスレコードファイル画像は画像ルーレットの対象となりません。
 • 静止画が1枚だけの場合は、画像ルーレット機能に入りません。
 • カメラで撮影した画像がルーレットの対象となります。他の画像が入っていると、画像ルーレット機能が動作しない場合があります。
 • 画像が停止してから約1分以上、次の画像ルーレットを開始しないと、通常のPLAYモードになります。

画像に音声を追加する(アフターレコーディング機能)

アフターレコーディング機能(アフレコ)により、撮影済みの画像に音声を追加することができます。また、音声付き画像(📷)が表示される画像)に録音された音声を、記録し直すことができます。

- 録音形式：WAVE/ADPCM記録形式
音声を録音するためのWindows標準フォーマットです。拡張子は“.WAV”となります。
 - 録音時間：1画像につき最長約40秒間
 - 音声ファイルサイズ：約120KB(約4KB/秒で30秒間録音時)
1. PLAYモードにして、[◀][▶]で音声を追加したい画像を表示させます。
 2. [MENU]を押します。
 3. “再生機能”タブ→“アフレコ”を選び、[▶]を押します。



4. [シャッター]を押して、音声を録音します。
5. [シャッター]を押すか約30秒経つと録音を終了し、音声を記録します。

音声を記録し直す

1. PLAYモードにして、[◀][▶]で音声を記録し直したい画像を表示させます。
2. 音声追加(アフレコ)の手順2～3(84ページ)と同じ操作により“アフレコ”を選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“消去”を選び、[SET]を押します。
 - 音声を消すだけにしたいときは、上の手順3操作後に[MENU]を押してください。
4. 音声追加(アフレコ)の手順4～5と同じ操作により、音声を録音します。
 - 前に録音していた音声は消え、新しい音声が録音されます。

重要! カメラ前面部にある【マイク】を必ず対象に向けてください。

- 指などで【マイク】をふさがないようにご注意ください。

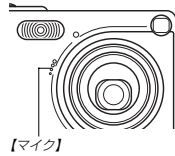
- 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。

- 録音中にボタン操作をすると、操作音が入ることがあります。

- 音声を追加した画像には、 (音声アイコン) が表示されます。

- メモリー容量が少ないときは、録音できない場合があります。
- 次の場合は音声を追加することはできません。
 - ムービー画像に音声を追加しようとした場合
 - 画像にメモリープロテクトがかかっている場合 (89ページ)

- 音声を記録し直した場合または音声を消去した場合、前に録音していた音声は消え、二度と元に戻すことはできません。音声を記録し直す際は、よく確かめてから行ってください。



【マイク】

音声を再生する

ボイスレコードファイルに録音した音声を再生します。

1. PLAYモードにして、 で再生したい音声(録音されたボイスレコードファイル)が表示される画像を表示させます。

2. [SET]を押します。

- ボイスレコードファイルの音声スピーカーから再生されます。



- 音声再生中に、次のような操作ができます。
 - 音声を早戻し／早送りする を押し続ける
 - 再生と一時停止を切り替える ... [SET]を押す
 - 音量を調整する を押す
 - 再生を終了する [MENU]を押す

- 重要!**
- ボイスレコードファイルの音量調整は、再生／一時停止中に可能です。
 - 録音時にマーキング操作を行ったボイスレコードファイルでは、一時停止中に を押すことにより、マークを付けた位置まで再生位置を移動させることができます。続けて[SET]を押すと、マークを付けた位置から再生を始めることができます。

消去する

ファイルを消去する方法には次の2つの方法があります。

- 1ファイル : ファイルを1ファイルずつ消去する。
- 全ファイル : すべてのファイルを消去する。

- 重要!**
- 一度消去してしまった記録内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行う際は、本当に不要なファイルかどうかをよく確かめてから行ってください。特に全ファイル消去の操作では、記録したすべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
 - メモリープロテクトのかかったファイルは消去できません。メモリープロテクトを解除してから操作してください(89ページ)。
 - すべてのファイルがメモリープロテクト(89ページ)されている状態では、消去は実行できません。
 - 音声付き静止画を消去すると、画像ファイルと音声ファイルの両方を消去します。

1 ファイルずつ消去する

表示されているファイルを1ファイルずつ消去することができます。

1. PLAYモードにして (削除)を押します。



2. で消去したいファイルを表示させます。

3. (削除)で“消去”を選びます。

- 消去を中止したいときは、“キャンセル”を選んでください。

4. [SET]を押して、表示しているファイルを消去します。

- 手順2〜4を繰り返して、他のファイルを消去することができます。

5. [MENU]を押して、消去操作を終了します。

- 重要!**
- 消去できないファイルを消去しようとすると、“このファイルではこの機能は使用できません”と表示されます。

全ファイルを消去する

すべてのファイルを消去することができます。

1. PLAYモードにして (削除)を押します。
2. (削除)で“全ファイル消去”を選び、[SET]を押します。
3. (削除)で“はい”を選びます。
 - 消去を中止したいときは、“いいえ”を選んでください。
4. [SET]を押して、すべてのファイルを消去します。

ファイルの管理について

本機では画像の撮影や再生の他、画像プリント時の枚数指定等やファイルの消去防止の設定ができます。

フォルダの分類について

本機は内蔵フラッシュメモリーやメモリーカード内に、フォルダ(ディレクトリ)を自動的に作成します。

メモリー内のフォルダ／ファイルについて

撮影した画像は連番を名前としたフォルダの中に自動的に記録されます。フォルダは最大900作成されます。フォルダ名は次の通りです。

例：連番100のフォルダ名

100CASIO
└──
連番(3桁)

各フォルダには最大9,999番までのファイルが登録できます。10,000枚以上撮影した場合は、次の連番のフォルダが自動的に作成されます。ファイル名は次の通りです。

例：26番目に記録したファイル名

CIMG0026.JPG
└── 拡張子
連番(4桁)

- 保存できるフォルダ数、ファイル数は画質やメモリーカードの容量によって異なります。
- 詳しいディレクトリ構造に関しては「メモリー内のディレクトリ構造」(122ページ)をご覧ください。

記録したファイルにメモリープロテクト(消去防止)をかける

大事なファイルを誤って消去してしまうことを防止する機能(メモリープロテクト)がついています。メモリープロテクトをかけたファイルは、消去操作(86ページ)により消去することはできません。メモリープロテクトのかけかたには、1ファイル単位、全ファイルの2通りがあります。

1 ファイル単位でメモリープロテクトをかける

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、[▶]を押します。



3. [◀][▶]でメモリープロテクトをかけたいファイルを表示させます。



4. [▲][▼]で“オン”を選び、[SET]を押します。

- メモリープロテクトがかかり、[▶]が画面上に表示されます。

- メモリープロテクトを解除するときは、“オフ”を選んでください。

5. [MENU]を押して、メモリープロテクトを終了します。

全ファイルにメモリープロテクトをかける

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“全ファイル オン”を選び、[SET]を押します。

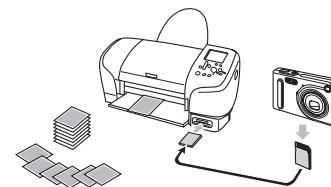
- メモリープロテクトを解除するときは、“全ファイル オフ”を選んでください。

4. [MENU]を押して、メモリープロテクトを終了します。

DPOF機能について

DPOF(Digital Print Order Format)とはデジタルカメラで撮影した中からプリントしたい画像や枚数などの設定情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。DPOF対応の家庭用プリンターやサービスラボでプリントすることができます。本機では撮影された画像ファイル名などを意識することなく、【液晶モニター】で確認しながらプリントしたい画像の設定を行うことができます。

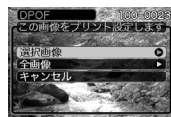
- 設定可能な内容
画像／枚数／日付



1 画像単位で印刷設定を行う

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“DPOF”と選び、[▶]を押します。



3. [▲][▼]で“選択画像”を選び、[▶]を押します。

4. [◀][▶]で印刷したい画像を表示させます。



5. [▲][▼]で印刷する枚数を決めます。

- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。

6. 日付を印刷したい場合は[DISP]を押して[日]を表示させます。

- 日付が不要なときは、[DISP]を押して[日]を消してください。
- 他の画像を印刷する場合は、操作4～6をくり返してください。

7. [SET]を押します。

- 印刷する枚数が設定されます。

全画像に印刷設定を行う

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“DPOF”と選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“全画像”を選び、[▶]を押します。

4. [▲][▼]で印刷する枚数を決めます。

- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。

5. 日付を印刷したい場合は[DISP]を押して[日]を表示させます。

- 日付が不要なときは、[DISP]を押して[日]を消してください。

6. [SET]を押します。

- 印刷する枚数が設定されます。



PRINT Image Matching IIについて

本製品はPRINT Image Matching IIに対応しています。PRINT Image Matching II対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching IIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

